# 竹内街道と道しるべ

## 地域協働の道しるべ

道や駅前などに設置した道しるべは、間伐材を用いたものや陶製の埋め込み型などさまざまです。

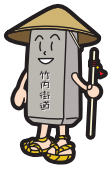
**埋め込み型　計5箇所**
羽曳野市域および太子町域に設置
（下水汚泥焼却灰100%で作られたレンガ「アシュレン」を活用）

**タイプ１　計4基**
羽曳野市域（近鉄駅除く）および太子町域に設置する道しるべ

**タイプ２　計2基**
近鉄駅に設置する道しるべ

### しるべくん

街道を楽しく、元気良く、歩くことをイメージした「しるべくん」です。



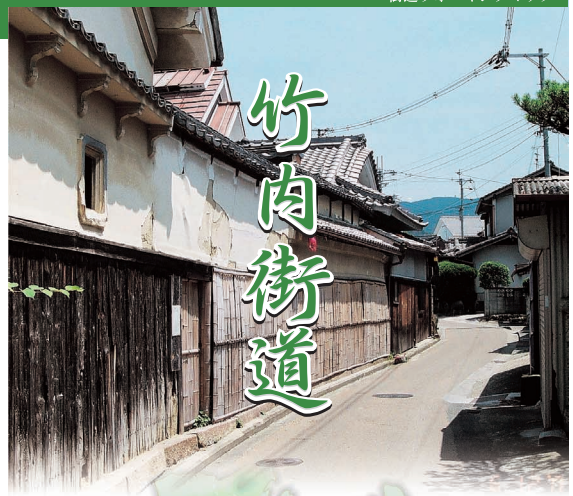

表紙上部写真：街道沿いの民家（太子町）

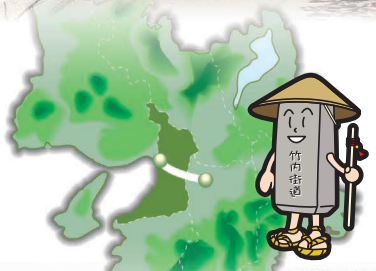
## お問い合わせは

■大阪府 都市整備部交通道路室
道路整備課交通計画グループ　TEL.06-6944-9275

（2008.2）
R100 PRINTED WITH SOY INK 環境に配慮し、古紙配合率100%の再生紙及び大豆インキを使用しています。





大阪府

# 大阪と奈良を結ぶ日本最古の官道

## 堺から松原、羽曳野、太子を抜けて奈良へ

### 時代とともに役割を変えた街道

竹内街道の起源は、推古天皇21年（613）に整備された「大道（だいどう）」にあります。難波と飛鳥の京（みやこ）を結び、日本最古の官道となったこの道とほぼ重なる竹内街道は、時代に応じて役割を変えてきました。飛鳥と大陸との行き来を担う「外交の道」、聖徳太子信仰を支える「信仰の道」、物資を運ぶ「経済の道」――。現在もなお国道166号として大阪と奈良を結んでいます。

線香たてに刻まれた道標

松原市岡の道標

### 進取の気風に富む商都、堺を歩く

街道は、堺の大小路（おおしょうじ）から始まります。人でにぎわうこの辺りには、商都として栄えたかつての活気が今も感じられます。

貿易の拠点であった堺は中世期に大きく発展。日明貿易や南蛮貿易で堺商人が大活躍し、まちの運営も豪商たちが組織した会合衆が行いました。堺に残る進取の気風は、このころに培われたのかもしれません。

中世末期、自治都市・堺と大和をつなぐ「経済の道」として、竹内街道は重要な意味をもちました。

### 二上山を望み万葉に想いを馳せる

大阪と奈良の境に位置し、雄岳・雌岳からなる二上山。「ふたかみやま」とも呼ばれ、その山容の美しさはたびたび歌に詠まれました。現在でも登り口から雌岳頂上広場の間には、アセビやハギなど万葉集に詠まれた花が四季折々に咲き誇ります。雄岳の頂上には悲劇の皇子・大津皇子（おおつのみこ）の墓もあり、万葉の世を今に伝えています。

大津皇子の墓

中将姫ゆかりの岩屋峠

雌岳に向かう途中にある岩屋峠から當麻寺にかけては、中将姫（ちゅうじょうひめ）ゆかりの地。當麻寺には、出家した姫が一夜で織り上げたとされる當麻曼陀羅（たいままんだら）が残されています。曼陀羅を織り上げたあと聖衆来迎（しょうじゅらいごう）し、中将姫が極楽往生したという伝説は、毎年5月14日、當麻寺の練供養会式（ねりくようえしき）で再現されます。

當麻寺

飛鳥時代、竹内街道は飛鳥と大陸をつなぐ「外交の道」でした。大陸からの渡来人や大陸を目指した遣隋使や遣唐使たちは、二上山を仰ぎながら何を想ったのでしょうか。

### 司馬遼太郎氏が愛した道を行く

司馬氏の命日（2月12日）は菜の花忌

竹内峠を過ぎると、風情ある家並みが続く竹内集落にいたります。作家・司馬遼太郎氏は、幼いころ、母親の実家のあるこの辺りをよく訪れていました。紀行シリーズ「街道をゆく」の竹内街道の項には「竹内峠の山麓は故郷のようなもの」との記述もあり、この集落に対する氏の想いの深さが伝わります。

司馬氏が「長尾～竹内間のほんの数丁の間は、日本で唯一の国宝に指定さるべき道であろう」と愛でた道を楽しみながら歩を進めれば、昔人が目指した飛鳥の地は、もうすぐです。

聖徳太子御廟（叡福寺）

### 街道マップのご利用方法

このマップは街道の歴史や見どころを知り、街道散策をより楽しんでいただくための推奨ルートです。街道沿いにある史跡や名勝のほか、休憩所やトイレなど散策中に役立つ情報も盛り込まれています。分岐点など分かりにくいポイントには詳細図もついているので、ぜひマップを片手に実際に歩いてみてください。

※ルートは、「歴史の道調査報告書」（大阪府教育委員会）などを参考に設定していますが、古道を限定、特定するものではありません。
※各ページで紹介している歩行距離や標準歩行時間、標準所要時間および電鉄情報は目安です。

### マナーを守って楽しい散策を

みんなが気持ちよく散策を楽しめるように、マナーを守り人の迷惑になる行為は慎みましょう。

- ●ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- ●喫煙マナーを守り歩きタバコはやめましょう。
- ●史跡や自然を傷つけないようにしましょう。
- ●神社仏閣などでは静かに見学しましょう。
- ●体調に配慮し無理のない範囲で歩きましょう。

このパンフレットは3000部作成し、1部あたりの単価は68円です。